

1 調査日 平成24年1月19日(木)～1月20日(金)

2 調査の概要

(1) 千葉県議会(千葉県千葉市)

千葉県の「千葉県中小企業の振興に関する条例」は、先行する条例を研究・参照してつくられた全国でも先進的な内容の条例であるため、滋賀県の中小企業振興の参考とすべく調査を行った。

調査においては、条例制定後の市町村に対する影響や条例に基づく部局間での連携等について質問が出された。



(2) 公益財団法人大田区産業振興協会(東京都大田区)

大田区は産業における製造業の占める割合が高く、従業員数9人以下の中小企業が事業所の約81%を占めるが、こうした中、大田区産業振興協会では、大田区のものづくりを支える中小企業の振興施策として、ビジネス拡大・国際化の支援、経営・人材育成支援、産学連携支援など、さまざまな取り組みを行っている。

製造業の構成比が高く、事業所の99%以上を中小企業が占める本県にとって、大田区産業振興協会の取り組みが参考となるため調査を行った。

調査においては、中小企業が抱える課題や公益財団法人大田区産業振興協会の組織体制等について質問が出された。



(3) 株式会社三輝(東京都大田区)

株式会社三輝は、大田区の優工場にも認定され、株式会社三輝が開発した「流体微圧感知式遮断機」や「詰め替えそのまま」は大田区中小企業新製品・新技術コンクールにて優秀賞を受賞するなど元気な中小企業である。

工場視察を行い、株式会社三輝の取り組みや大田区産業振興協会との連携状況を調査することにより、滋賀県の中小企業振興の参考とするため調査を行った。

調査においては、工場現場の状況を視察した後、製品開発についての課題等について質問が出された。

